

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年11月11日
【四半期会計期間】	第45期第1四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	シンポ株式会社
【英訳名】	SHINPO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 利明
【本店の所在の場所】	名古屋市名東区若葉台110番地
【電話番号】	052(776)2231(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 水野 泰彦
【最寄りの連絡場所】	名古屋市名東区若葉台110番地
【電話番号】	052(776)2231(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 水野 泰彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第1四半期連結 累計期間	第45期 第1四半期連結 累計期間	第44期
会計期間	自 平成25年 7月 1日 至 平成25年 9月 30日	自 平成26年 7月 1日 至 平成26年 9月 30日	自 平成25年 7月 1日 至 平成26年 6月 30日
売上高 (千円)	877,621	869,652	3,915,228
経常利益 (千円)	116,855	90,314	462,292
四半期(当期)純利益 (千円)	59,733	39,738	228,175
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	64,742	58,090	278,065
純資産額 (千円)	2,535,563	2,739,056	2,748,886
総資産額 (千円)	3,273,684	3,545,262	3,781,962
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	10.55	7.02	40.31
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	77.5	77.3	72.7

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策を背景に円安・株高が進み、企業収益や雇用・所得環境等の改善の動きが見られております。しかしながら、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や天候不順、異常気象の影響を受け、消費者の生活防衛意識が高まり、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループの主要マーケットである焼肉業界は、他の外食産業が厳しいなか、徐々にではありますが確実に明るい兆しが見えてまいりました。このような状況下で、当社グループは、引き続き店舗展開や店舗改装等の提案を実施し販売強化に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は869百万円（前年同期比0.9%減）となりました。また、利益面につきましては減収の結果、営業利益は88百万円（前年同期比23.2%減）、経常利益は90百万円（前年同期比22.7%減）、四半期純利益は39百万円（前年同期比33.5%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,545百万円となり、前連結会計年度末と比較して236百万円減少しました。

この主な要因は、現金及び預金が137百万円、受取手形及び売掛金が92百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は806百万円となり、前連結会計年度末と比較して226百万円減少しました。

この主な要因は、未払法人税等が144百万円、その他流動負債が86百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,739百万円となり、前連結会計年度末と比較して9百万円減少しました。

この主な要因は、剰余金の配当が67百万円ありましたが、四半期純利益39百万円の計上があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、13百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,775,000
計	14,775,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,140,850	6,140,850	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,140,850	6,140,850	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	6,140,850	-	639,307	-	595,887

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 480,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,659,000	56,590	-
単元未満株式	普通株式 1,050	-	-
発行済株式総数	6,140,850	-	-
総株主の議決権	-	56,590	-

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
シンボ株式会社	名古屋市名東区若葉台110番地	480,800	-	480,800	7.83
計	-	480,800	-	480,800	7.83

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は、480,822株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,692,042	1,554,445
受取手形及び売掛金	507,570	415,295
商品及び製品	45,103	37,435
仕掛品	30,107	29,239
原材料及び貯蔵品	165,049	174,013
その他	37,840	45,853
流動資産合計	2,477,713	2,256,282
固定資産		
有形固定資産		
土地	461,679	461,679
その他(純額)	236,942	238,784
有形固定資産合計	698,621	700,463
無形固定資産	14,875	14,139
投資その他の資産		
投資有価証券	450,181	434,864
その他	158,923	157,865
貸倒引当金	18,352	18,351
投資その他の資産合計	590,752	574,378
固定資産合計	1,304,249	1,288,980
資産合計	3,781,962	3,545,262

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,418	91,285
短期借入金	120,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	7,152	7,152
未払法人税等	195,795	50,943
賞与引当金	19,500	49,950
役員賞与引当金	25,600	6,600
その他	390,220	303,245
流動負債合計	841,686	609,176
固定負債		
長期借入金	38,438	36,650
役員退職慰労引当金	59,850	62,036
退職給付に係る負債	25,822	28,662
その他	67,279	69,681
固定負債合計	191,389	197,029
負債合計	1,033,076	806,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	639,307	639,307
資本剰余金	595,887	595,887
利益剰余金	1,598,017	1,569,835
自己株式	188,103	188,103
株主資本合計	2,645,108	2,616,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91,253	110,319
為替換算調整勘定	12,524	11,811
その他の包括利益累計額合計	103,777	122,130
純資産合計	2,748,886	2,739,056
負債純資産合計	3,781,962	3,545,262

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	877,621	869,652
売上原価	534,704	514,104
売上総利益	342,916	355,547
販売費及び一般管理費	227,270	266,714
営業利益	115,646	88,832
営業外収益		
受取利息	108	113
受取配当金	770	760
受取賃貸料	2,394	2,149
その他	71	93
営業外収益合計	3,344	3,116
営業外費用		
支払利息	314	274
投資事業組合運用損	720	566
不動産賃貸費用	920	747
為替差損	179	45
営業外費用合計	2,134	1,634
経常利益	116,855	90,314
特別利益		
投資有価証券売却益	-	10,589
特別利益合計	-	10,589
特別損失		
固定資産除却損	-	1,023
投資有価証券償還損	-	11,249
特別損失合計	-	12,273
税金等調整前四半期純利益	116,855	88,630
法人税等	57,121	48,892
少数株主損益調整前四半期純利益	59,733	39,738
四半期純利益	59,733	39,738

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,733	39,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,719	19,066
為替換算調整勘定	2,289	713
その他の包括利益合計	5,008	18,352
四半期包括利益	64,742	58,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,742	58,090
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
減価償却費	6,589千円	8,978千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年9月20日 定時株主総会	普通株式	56,600	10	平成25年6月30日	平成25年9月24日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年9月19日 定時株主総会	普通株式	67,920	12	平成26年6月30日	平成26年9月22日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

当社グループは、無煙ロースターの製造販売及びその附帯工事を内容とした事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

新たに設立し重要性が増したフードクロス・マネジメント株式会社を、前第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントを従来の単一セグメントから、無煙ロースター関連事業及び飲食事業の2区分に変更しております。

なお、飲食事業の割合が、全セグメントに占める割合が僅少であり開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 7 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 7 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	10円55銭	7円02銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	59,733	39,738
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	59,733	39,738
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,660	5,660

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月11日

シンボ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 賢次 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岸田 好彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシンボ株式会社の平成26年7月1日から平成27年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、シンボ株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。